

科目名 (科目番号)	臨床看護実習Ⅰ (チーム医療と継続看護)	教員名	吉田和美 岡嶋妙子 中島美香 小川愛里 他	学科等	看護	必修	履修年次	3
	曜日・時限等			時間割表参照	単位数	1		
	授業形態			実験・実習	オフィスアワー	各教員研究室		
授業概要	成人期の発達段階、発達課題をふまえ、患者の健康上の問題を科学的根拠に基づき理解し、健康障害のレベル、あるいはニーズに対応した看護を展開することで看護実践能力を習得する。さらに、学習者・将来の看護専門職者として、ふさわしい態度およびコミュニケーション能力・自己の看護観を育成する。							
目的・目標	目的：看護専門職者としての知識・技術・態度を身につけ、広く看護の対象を理解し対象の特性に応じた問題解決能力を養う。 目標：①看護の対象である人間を全人的・統合的に理解する。 ②看護の対象に応じて、科学的・個別的な看護を、安全性・安楽性かつ倫理的な配慮をもって実践できる基礎的能力を養う。 ③看護チームの一員として、多職種との連携による活動の意味を理解する。 ④自己の看護観を明確にしていくとともに、看護専門職者として学び続ける姿勢を養う。							
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	到達目標 1. 外来や特殊な治療環境における対象者と看護師のかかわりを見学し、信頼関係の必要性が理解できる。 2. 外来や特殊な治療を継続する対象者の病態、検査、治療過程および生活に及ぼす影響について理解できる。 3. 外来や特殊な治療環境におけるチーム医療について理解できる。 4. 学習者・将来の専門職者として、ふさわしい態度や倫理的配慮及び看護観を深めることができる。 学習内容 一般外来や救急外来、手術室、ICU、HCUなどの診療・治療環境を見学し、患者の疾病・治療経過をふまえて身体的、精神的、社会的、霊的側面から必要な看護実践について学習する。 詳細は実習要項「臨床看護実習Ⅰ・Ⅱ」を参照のこと。							
成績評価の方法・基準	臨床看護実習Ⅰ評価表に基づき評価を行う。							
教科書	成人看護学概論、成人看護学援助論Ⅰ、Ⅱで使用したテキスト							
参考図書	随時紹介する。							
教員からのメッセージ	これまでの成人看護学で使用したテキスト、演習を有効に活用し主体的に学習をしましょう。 様々な機能障害、経過をもつ患者さんの看護について理解を深めましょう、教員・臨地実習指導者の助言のもとに、看護の実際を一緒に学んでいきましょう。総合病院、大学病院で勤務した看護師がこの授業を担当します。							